

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	卒業研究		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時間	前期 火水2限/月火4限・木1限	教室名	5校舎8階
担 当 教 員	飯塚稔・加藤裕史 岡井豪	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
3年間の集大成として、特に心理や精神保健福祉に関する領域の調査研究を行い、研究論文としてまとめる。論文作成過程を通じて、調査・分析能力をはじめコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、問題解決能力、リーダーシップやフォローシップ、主体性、行動力を育成することを目的としている。						
《成績評価の方法と基準》						
試験70%、出席20%、平常点10%とする。その他、発表中の態度なども加味する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
随時、必要な資料や参考書を呈示する。						
《授業外における学習方法》						
グループのメンバーと時間を調整し、授業外でも調査や討論、作業を進めていくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
1年間かけて取り組むものです。1つのテーマで、じっくりと考える習慣や、実証的な説明が身につくよう願っています。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	インターネットから、先行研究を検索することができる。		卒業研究スケジュール 各種フォーマット	授業時間外を利用して、関心のあるテーマについて調べること。	
	各コマにおける授業予定	「オリエンテーション」 卒業研究の進め方、年間のスケジュールを確認。				
第2回	授業を通じての到達目標	インターネットから、先行研究を検索することができる。		プレゼンテーション フォーマット	授業時間外を利用して、関心のあるテーマについて調べること。	
	各コマにおける授業予定	「研究テーマの選定①」個人ワークとして、各自が興味のある研究テーマについて調べる。				
第3回	授業を通じての到達目標	各自が選んだ研究テーマをもとに、どのような研究をしたいのか、説明できる。		PC プロジェクター等	研究テーマについて発表の準備をすること。	
	各コマにおける授業予定	「研究テーマの選定②」各自が選んだ研究テーマについて、クラス内で共有する。				
第4回	授業を通じての到達目標	各自が選んだ研究テーマをもとに、どのような研究をしたいのか、説明できる。		PC プロジェクター 先行研究に関する論文等	授業時間外でも作業や調査をグループで協力して進める。	
	各コマにおける授業予定	「研究テーマの選定③」各自が選んだ研究テーマに基づき、グループ分けを行う。				
第5回	授業を通じての到達目標	研究の構想を、背景、目的も含めて説明できる。		PC プロジェクター	授業時間外でも作業や調査をグループで協力して進める。	
	各コマにおける授業予定	「構想発表」グループごとに、研究の構想を発表する。				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	選定した研究テーマから、研究計画の立案を始める。	質問紙等の参考資料	授業時間外でも作業や調査をグループで協力して進める。
		各コマにおける授業予定	「研究テーマの選定④」構想発表をもとに、研究テーマを具体的にしていく。背景、目的、どのような調査や実験を行うか検討する。		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	インターネットから、先行研究を検索し、必要な論文を選択できる。	PC等	授業時間外でも作業や調査をグループで協力して進める。
		各コマにおける授業予定	「文献検索①」選定された研究テーマの先行研究を調べる。		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	先行研究における調査内容や実験内容を述べることができる。	PC等	授業時間外でも作業や調査をグループで協力して進める。
		各コマにおける授業予定	「文献検索②」先行研究を参考にしながら、研究方法や倫理的配慮、想定される結果などを検討する。		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画の立案に必要な先行研究を準備する。	研究計画書のフォーマット等	授業時間外でも作業や調査をグループで協力して進める。
		各コマにおける授業予定	「文献検索③」先行研究をもとに、研究計画の立案を始める。		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究の背景と目的を述べることができる。	研究計画書のフォーマット、引用参考文献	授業時間外でも作業や調査をグループで協力して進める。
		各コマにおける授業予定	「研究計画書の作成①」研究計画書の作成を始める。		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究方法を立案できる。	研究計画書のフォーマット、引用参考文献	授業時間外でも作業や調査をグループで協力して進める。
		各コマにおける授業予定	「研究計画書の作成②」目的に沿った研究方法を考える。		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	予想される結果を想定できる。	研究計画書のフォーマット、引用参考文献	授業時間外でも作業や調査をグループで協力して進める。
		各コマにおける授業予定	「研究計画書の作成③」計画された方法から予想される結果を考える。また、倫理的配慮についても考える。		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画をパワーポイントを使って発表できる。	PPT PC プロジェクター 発表要旨	研究計画について発表の準備をすること、抄録の基礎を作成すること。
		各コマにおける授業予定	「研究計画発表」前回までの授業で立案した計画を発表する。		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	背景や目的と質問紙を関連づけることができる。	PC 先行研究論文	どのような質問内容が適切かグループで検討しておくこと。
		各コマにおける授業予定	「調査項目の選定①」研究計画に基づき、質問紙や調査項目を選定する。		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	アンケートを作成することができる。	PC 先行研究論文	研究に必要な論文を共有しておくこと。
		各コマにおける授業予定	「調査項目の選定②」選定された質問紙や調査項目から、アンケートを作成する。		